職工連の大争闘 負傷者多数

神戸川崎造船所では午後二時職工側代表者と重役との會見の交渉で[illegible]あるので其代表者に對して氣勢を添へる爲に造機部職工大擧して落書を押倒して事務所門前に示威運動を試みんとし會社のペンキ塗裝の[illegible]をして居る職工連は全部襷がけで手に手に棍棒を持ち事務所の南北兩側で此運動を阻止せんとし端なくも大格鬪を演じ負傷者も多數にある模樣である（午後二時半記）

兵庫縣警察部の態度

警察部長の返答

神戸勞働聯合會を代表して賀川久留兩氏は七日午前十一時阪本警察部長を訪ひ川崎三菱の紛擾は最近に至り益々惡化の傾向がある之に對し警察の[illegible]の取締方針を伺ひたいと述べ阪本部長は警察として工場内の出來事に關しては積極的干渉を試みるやうな態度に出た事はないが若し秩序を紊して不穩の擧動あらば假借なく取締る方針で現に今朝三菱工場で前日馘首された一職工が不穩の行動を敢てしたので檢束を加へた[illegible]であるが職工側の希望して居る退職手當などは資本家の一考を煩はしたいが工場へ人などは[illegible]つて貰ひたい、又[illegible]へて貰はねばならぬと答へた

職工の要求は當然だ

と思ふ點と思へない點とある

賀川、久留兩氏と會見した 坂本縣警察部長が語る

友愛會の久留弘三、賀川豐彦の兩氏は七日午前十一時過ぎ縣廳へ出で[illegible]といふやうな話があつた、之に對し坂本警察部長は[illegible]勞働問題で坂本警察部長に面會して午後零時半頃退出した[illegible]に就き坂本警察部長に面會の上[illegible]の要求をした事に就いても[illegible]從つて賀川、久留兩氏が代表で[illegible]勞働組合[illegible]あつた譯では無いが[illegible]と口を切つ[illegible]

神戸の會社へ

[illegible]對して談じた[illegible]

組合さへ確認して貰へば

[illegible]の要求した事に就ても尤もだと思ふ點もあるが又尤もだと思へない點もある、職工から云へば以前の盛であつた時から比べて[illegible]收入が減つたものもあるこ[illegible]から賃銀を増して貰ひたいのは[illegible]

當然で

[illegible]自然職工の收入も減じるのは當然であることは[illegible]

不秩序な

[illegible]然し無闇に暴力を振廻すことは出來ない[illegible]

職工が

[illegible]賃銀も多く與へたいだらうが爲る仕事が無ければ何共仕方が無い[illegible]

盛況で

[illegible]

三菱造船工 遂に血塗れ騒ぎ

巡視や壯士と大亂闘

三菱造船所の總罷業は形勢益々險惡、七日午前八時第一工場の職工二千餘名の

宣傳隊

は事務所工場の周圍を練廻つて一大示威を試み守衛本部では巡視七八名が先頭の職工二三名を檢擧したゝめこゝに大格鬪となり職工二名負傷したが結局檢束者を返し代表者を選んで會社と交渉することゝなつて納まつたが會社では[illegible]一を[illegible]り九時半勤力一切を止め十一時臨時休業を發表した斯くて午後二時兵庫分工場職工約一千名は

死ぬ迄

戰へと大聲せる[illegible]を先頭に勞働歌を合唱しつゝ會社に[illegible]國各派の片端組壯士數十名は[illegible]七百を揮つて襲ひ整理委員國方[illegible]一（電正會）外三名は背部を斜に斬られて重傷を負ひ

一方馘首職工は會社で永留重役と會見したが重役は愈々頑強より惡化せる形勢に就ては會社は全然

責任を

負はずと喧嘩別れとなつた、三時[illegible]の數十名も殺到し永留を出せと喚きながら二階[illegible]に闖入し事務員は文書全部を整理して裏口より逃出したが片端組壯士は更に職工を片端から棍棒で殴り十數名の重輕傷者を出した、大騒擾四時退出時の汽笛と共に全職工は工場を退いた（神戸電話）

本日より 罷業

兵庫工場 一齊開始

川崎造船所兵庫分工場鍛工科は八日會社に對し左の陳情書を送り分工場を擧げて事實上のストライキを爲すに決した（神戸電話）

馘首職工の復職を目的として茲に警告を發し直に行動を開始す

各勞働團も宣戰

昨夜の代議員會決議

七日夜友愛會聯合會本部に於て各勞働團體の聯合代議員會を開き三菱及川崎造船所に對し正式に各勞働組合として宣戰を布告する旨を通じた（神戸電話）

一擧に解雇す

職工側の實行委員を 三菱内燃機と川崎造船

神戸の勞働爭議形勢一變す

神戸の勞働界は前日來紛擾を重ねて容易に解決を見るに至らぬ形勢であつたが三菱内燃機會社では六日再度の歎願書を提出した職工代表實行委員松本、川上、宗谷、木村、沖本、小谷の六名に無期停職を命じ一方川崎造船所の態度又頗る強硬となり六日午前川崎造船所及び兵庫分工場鑄物、造船、作部、造機工作部の代表實行委員柴田、行政、柴田（勝）阿部、伊藤、戸田、中川、須々木の八名より提出した要求に對しては永留、山本兩重役より受理を拒絶し更に午後三時に至り右の實行委員八名及び[illegible]め行委員[illegible]卿、尾川、荒井、伊藤、[illegible]山、[illegible]邊、前田、野倉の八委員計十六名を一擧に解雇し之を發表すると同時に解雇手當を渡さうとしたが解雇された代表委員は悉く之を拒み會社に對し解雇の理由を説明せよと迫つたが會社側では明答を與へず職工側の憤慨は愈々極度に達したかくて川崎造船部の職工は新開地カフエー・ナンヨーに造機、造船部、一心會の幹部職工は湊東倶樂部に電氣部の實行委員は大井通の互助倶樂部に三菱内燃機會社の職工は新開地の魚友倶樂部に集合して今後の起否につき協議を凝して居るが形勢直に逆睹し難い状態に陷つた

他方今回の爭議が那邊に進展するかにつき警察側でも大いに憂慮し縣原湊川署長の提案で神戸印刷工組合長久留弘三氏及び賀川豐彦氏は七日午前中に阪本警察部長と會見することになつた尚川崎造船所は解職者に對して六日大々的[illegible]を支給したが手當の額は十二日分の[illegible]の職工で四百圓以外に持つて[illegible]の伍長で最高千二百圓[illegible]して解雇手當と日額又は[illegible]の額を支給したものもあるが支給せぬものもあつて解雇された職工の多數は解雇手當支給の[illegible]が不明確だとあつて受取りを拒んで居る始末であつて[illegible]明にすべしと會社[illegible]始す

べしと云つて居る

試力罐を叩いて 續々繰込む

六日川崎、三菱兩造船所が勞働爭議の交渉委員十數名を解雇したの[illegible]毛催不當解雇糺彈演説會は六日午後七時[illegible]より[illegible]三菱内燃機職工約一千名が[illegible]二列縱隊を作つて試力罐を叩き勞働歌を高唱しつゝ廿餘名の停職者を先頭に同會場に乘り込んだのを手始めに兩造船所の職工が續々詰め掛け定刻には會衆二千を超え一同殺氣立つて物凄い光景を呈した

和田野平氏開會を宣し三菱及川崎から停職及び馘首された職工尾川阪口、柴田、行政、一宮等の實行委員が交々立つて會社側が不當に解雇した件を盛んに痛罵し最後に友愛會大阪聯合會主事木村錠吉氏の激勵演説があつて九時散會した

三菱造船内燃機 委員の停職に激憤

要求案の却下で怠業の 超繁騒装と相合し

勞働歌高唱示威行列をやる

[illegible]紛亂に紛亂を重ねる[illegible]三菱造船所内燃機工場の勞働[illegible]に關し六日會社側に於て職工[illegible]交渉委員六名と松本外一名を[illegible]首したるは夕刊所報の如くなる[illegible]が其後會社側に於ては更に同午後四時卅分に至り

職工側

委員[illegible]十四名を何れも同日限り無期停職を命じたれば職工側の激昂其極に達し一同再び大衆して長務[illegible]に對し會社側の態度[illegible]

[illegible]を[illegible]し形勢頗る

險惡化

したるが折柄出張中の兵庫者署員數名が極力鎭撫に努めた結果幸いにして事なきを得た斯くて終業時間に至るや一方同日要求案の提出を行ひ却下されて遂に怠業を

断行す

るに至りたる同所造船部及び艤裝工場等の職[illegible]

勞働歌

を高唱しブリ[illegible]を組出し同夜[illegible]

團體權を 否認

大阪資本家 討議の結果

大阪の資本家は工業界の資本家團と最近勞働爭議の核心となつて居る團體交渉權に就て討議した結果勞働組合は否とし[illegible]のみは認めるが[illegible]致したに就き友愛會神戸聯合會總務久留弘三氏は今日の目覺めた勞働者は斯かる態度を[illegible]乘るものでないと憤慨して語つた（大阪電話）